

2. 事業内容

事業期間	令和	3	年	9	月	～	令和	3	年	11	月	
施工箇所	屋根及び外壁											
実施事業	※複数の実施事業がある場合は全て選択して下さい											
	①	遮熱塗装			②	選択して下さい			③	選択して下さい		
(その他の場合は下欄に記入して下さい)												
導入前の状況	竣工時から改修等の実績なし			<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> 複数内容を入力する等、改行をする場合は「Alt」キーと「Enter」キーの同時押しにて実行できます！ </div>								
導入予定設備等	《導入予定設備》※複数											
	遮熱塗装											
	メーカー	(屋根)●●(株) (外壁)△△(株)										
	製品名	(屋根)サーモ△△ (外壁)遮熱□□□□										
	色・種類	(屋根)ホワイト (外壁)グレー										
	施行実施方法	屋根及び外壁ともに 三度塗り(下地、中塗り、上塗り)										
	《施工面積や範囲について》※複数の実施事業がある場合は全て記入して下さい											
	屋根: 本社工場の屋根全体 100㎡ 外壁: ①北 20㎡ ②東 20㎡ ③南 20㎡ ④西 20㎡ 計 80㎡											
	《適合基準の確認》※入力シートに記入する全ての数値について記入して下さい											
	該当	規格	規格名、実証番号	区分	数値							
○	日本産業規格(JIS)	K5675	日射熱反射率	0.91								
		K5602	日射熱吸収率	0.19								
	環境省の環境技術実証事業(ETV)		選択して									
	国立研究開発法人											
	一般社団法人建ター											
<div style="border: 1px solid green; padding: 5px;"> 「入力」シートに入力する「日射熱吸収率」は $1 - 0.91(\text{日射熱反射率}) = 0.09(\text{日射熱吸収率})$ となります。 </div>												
資産台帳	法定耐用年数 (複数用途がある場合、施工別に記入する)			屋根	10							
	※償却資産台帳(固定資産台帳)に登録する年数を記入して下さい			外壁	10							
				窓								
	導入前	導入後	CO ₂ 排出削減予測量									
	1.9 t-CO ₂ /年	1.3 t-CO ₂ /年	0.6 t-CO ₂ /年									

※10年間。ただし法定耐用年数が10年未満のものはその法定耐用年数

財産処分制限期間※相当CO ₂ 排出削減量	6.0 t-CO ₂
----------------------------------	-----------------------

3. 資金計画

(1) 事業費内訳

(単位:円)

区分	設備費・材料費			工事費	合計	
	単価	数量	計			
補助対象経費	遮熱塗装(屋根)	2,500	100	250,000	200,000	450,000
	遮熱塗装(外壁)	2,500	80	200,000	150,000	350,000
	足場代	100,000	1	100,000		100,000
	高圧洗浄代	150	180	27,000		27,000
	値引き	-47,000	1	-47,000		-47,000
	計(A)			530,000	350,000	880,000
補助対象外経費	防水工事			500,000		500,000
	既設設備撤去費			300,000		300,000
	諸経費			20,000		20,000
	計			820,000		820,000
小計	※ 見積書の合計額(税抜額)と一致させること					1,700,000
消費税及び地方消費税額						170,000
総事業費	※ 見積書の合計額(税込額)と一致すること					1,870,000

(注) (1) 補助対象経費の区分欄は、導入事業ごとに記載し、その内訳が見積書で明確に確認できるようにすること。

(2) 「出精値引き」など、内訳が明確でない値引きについては、すべて対象経費から差し引くこと。

(2) 補助金申請額

① 上限額

3,000,000

② 補助対象経費の1/3

880,000

× 1/3

= 290,000

(A)



申請上限額

290,000

①、②の低い額

暑さ対策入力シート及び計算結果シート

セル内に必要事項を記入し、また、セル枠線外には記入できません。注意事項に留意して作成してください。
 計算結果は「計算結果シート」に入力してください。
 ※本シートによるCO₂排出量は、計算結果シートに入力してください。

屋根・外壁の遮熱塗装の場合

I. 事業所概要

作成日 **令和3年4月26日**

1 対策事業所名 **本社工場**
 事業実施場所 埼玉県 **さいたま市**

2 既存空調設備の冷熱源のCOP(成績係数)
 熱量効果計算における、既存冷熱源のCOP値は以下の一定値を使用する。
 本ファイルの効果計算ではCOP値の変更はできない。
 冷房用COP 3.55
 暖房用COP 3.95

赤い丸で囲った部分が**入力箇所**

3 当該施設の操業・営業時間
 月の平均営業・操業日数 **20**日/月
 一日の平均営業・操業時間 **8**h/日
 月当たりの平均操業・営業時間 160 h/月

II. 施工内容

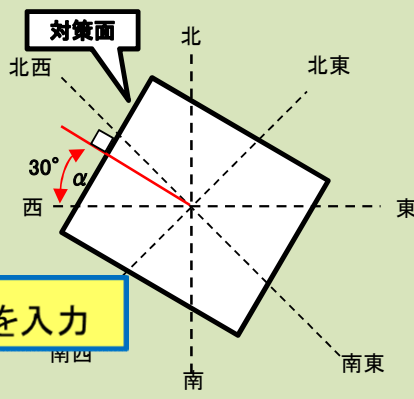
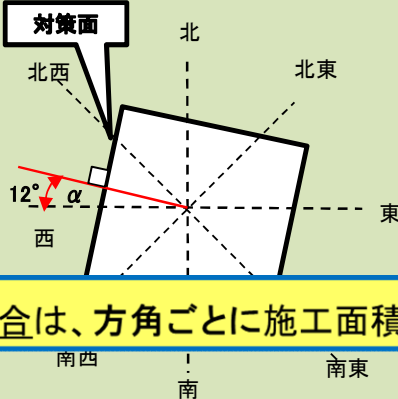
●屋根の遮熱塗装 ⇒ 屋根 ●外壁の遮熱塗装 ⇒ 外壁遮熱
 をそれぞれ選択する。

1 対策部位 (対策する工事をクリックし選択する)
 屋根 外壁断熱 外壁遮熱 窓断熱 窓遮熱

2 暑さ対策を行う屋根・外壁・窓ガラスの面積
 暑さ対策を実施する屋根、外壁、窓の施工面積を記入する。施工しない場合は「0」を入力する。
 方位については、図1、図2を参考にすること。

表-2 各方位の対象面積

対策部位	方位	施工面積(m ²)
屋根	—	100
外壁	北	20
	北東	
	東	20
	南東	
	南	20
	南西	
	西	20
	北西	



対策箇所が外壁や窓の場合は、方角ごとに施工面積を入力

窓ガラス	東	
	南東	
	南	
	南西	
	西	
北西		

図1 方位の解釈の例1

図2 方位の解釈の例

対策する面の法線(面に対して90度の線)と方角の角度αが22.5°より、小さい場合、この面の方角面(この場合は西向き)となる。
 図2の場合は北西面となる。

Ⅲ. 対策後の熱性能(熱貫流率、日射熱吸収率、日射熱取得率)

1 屋根対策

①断熱

屋根について、対策を行わない場合は、数値を変更しないこと。対策を行う方位のみ、その数値に変更する。

表-3 暑さ対策による屋根の熱貫流率入力表

屋根の熱貫流率 W/(m²K) ★デフォルト値:3.91W/(m²K)

②遮熱塗装

屋根について、対策を行わない場合は、数値を変更しない。

表-4 暑さ対策による屋根の日射熱吸収率入力表

遮熱塗装の日射熱吸収率 ★デフォルト値:0.7

2 外壁対策

①断熱

外壁について、対策を行わない方位の数値は変更しないこと。対策を行う方位のみ、その数値に変更する。

表-5 暑さ対策による外壁の熱貫流率入力表

部位	方位	熱貫流率	
外壁	北	<input type="text" value="1.18"/>	★デフォルト値:1.18W/(m ² K)
	北東	<input type="text" value="1.18"/>	
	東	<input type="text" value="1.18"/>	
	南東	<input type="text" value="1.18"/>	
	南	<input type="text" value="1.18"/>	
	南西	<input type="text" value="1.18"/>	
	西	<input type="text" value="1.18"/>	
	北西	<input type="text" value="1.18"/>	

②遮熱塗装

外壁について、対策を行わない方位の数値は変更しないこと。対策を行う方位のみ、その数値に変更する。

表-6 暑さ対策による外壁の日射熱吸収率入力表

部位	方位	日射熱吸収率	
外壁	北	<input type="text" value="0.19"/>	★デフォルト値:0.7
	北東	<input type="text" value="0.7"/>	
	東	<input type="text" value="0.19"/>	
	南東	<input type="text" value="0.7"/>	
	南	<input type="text" value="0.19"/>	
	南西	<input type="text" value="0.7"/>	
	西	<input type="text" value="0.19"/>	
	北西	<input type="text" value="0.7"/>	

施工面積を入力した方角ごとに、設備の遮熱性能を入力

3 窓対策

窓対策による熱貫流率と日射熱取得率の値

表-7 暑さ対策による窓の熱貫流率と日射熱取得率*の選定表

デフォルト値	5.95 W/(m ² K)	0.876
単層高性能熱線反射相当	5.61 W/(m ² K)	0.490
複層(空気層6mm)Low-E(遮蔽)6t+透明6t相当	2.50 W/(m ² K)	0.415
複層(空気層12mm)Low-E(遮蔽)6t+透明6t相当	1.69 W/(m ² K)	0.408
上記以外(JISで示された熱貫流率)	<input type="text"/>	<input type="text"/>

※左:熱貫流率 / 右:日射熱取得率

窓ガラスについて、対策を行わない方位の数値はデフォルト値のままとすること。

対策を行う方位のみ、プルダウンリストから選択する。

表-8 暑さ対策による窓の熱貫流率と日射熱取得率の入力表

部位	方位	窓対策の内容	熱貫流率		日射熱取得率	
			熱貫流率	日射熱取得率	熱貫流率	日射熱取得率
窓ガラス	北	デフォルト値	5.95	0.876	★デフォルト値: 5.95W/(m ² K) 0.876	
	北東	デフォルト値	5.95	0.876		
	東	デフォルト値	5.95	0.876		
	南東	デフォルト値	5.95	0.876		
	南	デフォルト値	5.95	0.876		
	南西	デフォルト値	5.95	0.876		
	西	デフォルト値	5.95	0.876		
	北西	デフォルト値	5.95	0.876		